2026 5-6

Race Report

Kuragano Takumi



こんにちは！五輪を目指すウィンドサーファーの倉鹿野巧です
5月6月の活動をご報告いたします

＜出場大会＞・IQFOIL ヨーロッパ選手権・JWA PROTOUR 浜名湖CUP

＜大会概要＞

IQFOIL 2026 European championship
場所：ポルトガル　ポルティマン
期間：5月16～5月18日
出場人数：男子117名　女子75名
目的：世界選手権の出場権利取得

iQFOiLヨーロッパ選手権は、年に一度開催される世界トップレベルの大会です。ヨーロッパという名を冠していますが、世界中から強豪が集まります。
私にとって3度目の国際大会であり、本大会へは初参戦。今回の最大の目的は『世界選手権の出場権獲得』でした。
一つでも上の順位を目指して戦った現地の様子をお届けします！

＜大会概要＞

JWA UPWIND PROTOUR 浜名湖CUP
場所：静岡県浜松市三ヶ日　浜名湖
期間：5月30～5月31日
出場人数：プロクラス26人

日本ウィンドサーフィン協会主催の国内プロツアー戦の一つです。競技は複数のカテゴリーに分かれており、本大会は「UPWIND」ルールで競います。



IQFOIL 2026 European championship





（ポルティマン）
大西洋に面した街
綺麗なビーチや洞窟などの
観光地がありました。

今回は過去の遠征の中で、最も移動距離が長い遠征となりました。フライト手続きや荷物のトラブルもなく、無事に移動できています。初めて車での国境越えを経験し、国ごとの雰囲気の違いを肌で感じる旅となりました。





＜ポルトガルの気候と風＞

遠征が決まると、1ヶ月ほど前から現地の風や波、天気の予報をチェックしています。大会会場のポルティマンは大西洋に面しており、世界最大の波で知られるナザレも同じポルトガルにあるため、かなり大きいうねりを予想していました。一方で、毎日安定して西風が吹き、快晴という素晴らしいコンディションでレースができそうな予報でもありました。
日本での出発前の練習は、こうした現地コンディションを想定して行います。今回はうねりの大きい海面を見据え、コントロール性の高いチューニングの確認や、荒れた海面での方向転換を想定した技術トレーニングを中心に準備を進めました。







＜大会周辺の環境＞

⭐⭐⭐ ホテルエリアとレース会場の距離
⭐⭐ レストランのバリエーション
⭐⭐ 物価

2週間弱の海外生活では、ホテル周辺の環境が日々のストレスに直結します。今回のポルティマンは、これまでの海外遠征の中でも特にストレスが少なく、非常に過ごしやすい環境でした。

レストラン　TOKYO

今回の遠征中は、このアジアンレストランに毎晩通っていました。やっぱりお米ですね。日本の味に少しでも近い方が食欲が湧きます。スペインより物価が安いエリアですが、それでも一食4,000円ほどでした。



ビーチを10分歩いて会場へ

ビーチ沿いには木の道が続き、ランニングやサイクリングに最適なルートになっています。毎日気持ちよく散歩しながら会場へ通える、最高の環境でした。





ホテル前の街並み

今回はビーチフロントのホテル。目の前の通りはレストランやスーパー、土産物屋が並び賑わっていました。夜遅くまでクラブの音楽で騒がしい日もありました。

＜ヨーロッパ選手権に向けての目標＞

・日本人3位からの脱却
このカテゴリーに参戦して4年目。オリンピックまで残り2年となる中、想定以上に国内3位の壁を越えられず焦りも感じていました。しかし、2位の選手との差は確実に縮まっており、1ヶ月前のスペイン大会ではあと一歩の惜敗。
次こそ順位を上げるため、帰国からポルトガル入りまでの1ヶ月間、ノンストップで準備を進めました。全般的な競技力向上は必要ですが、今回は短期間の集中トレーニングで解決できる問題にフォーカス。特にスタートのルーティンとコース選択を見直して今大会に挑みました。





大混戦のスタート

・1レースで最大の経験を
貴重な海外レースでは、1レースからどれだけ多くの経験を得られるかを重視しており、特に「レース展開」にこだわっています。
スタートの有利なポジションは大混雑し、クラッシュも多発します。成功すれば上位、失敗すれば最下位というハイリスクな場所ですが、現状の力で勝つにはリスクを恐れず、あえて揉まれにいく経験が不可欠です。
トップ選手たちも同じリスクを負いながら、なぜ毎度クリアなスタートを切れるのか。その鍵を肌で学ぶことも目的の一つ。
無難な10レースより、攻めて得られる濃密な1レースを求め、積極的なレース展開で挑んでいます。

＜レース結果＞

全5日間　計15レース

97位（出場数117人）
日本人2位

＜リザルト＞

97 JPN 801 Takumi KURAGANO Open 392.57 537.57 +

RACE	POSITION	POINTS
1Q(CR)	RDG	47.57
2Q(CR)	46	46
3Q(CR)	47	47
4Q(CR)	~~48~~	~~48~~
5Q(CR)	~~55~~	~~55~~
6Q(CR)	43	43
7Q(CR)	46	46
8Q(CR)	47	47
9F(CR)	~~42~~	~~42~~
10F(CR)	19	19
11F(US)	8	15
12F(US)	9	17
13F(US)	9	17
14F(SL)	13	25
15F(US)	12	23





・今大会の良かった点

前回のスペイン大会と比べ、今回はレース中盤まで良い順位をキープできる場面が増えました。大会前に見直したスタート位置とコース選択の戦略が良い効果をもたらしました。2周のレースにおいて、1周目は全体の半分付近につけるものの、フィニッシュ時には定位置の90位前後に後退してしまいます。この原因は明確で「全体的なスピード不足」でした。
しかし、スピードで劣る私が1周目で良い位置につけたのは、事前の戦略が正しかった証拠です。戦略構築よりもスピード改善の方がアプローチしやすい課題であるため、個人的には非常にポジティブに捉えています。
帰国から1ヶ月が経った現在は、このスピード強化に絞ってトレーニング中です。次戦で成果を出せるよう準備を進めます。

＜ポルトガル遠征で学んだこと＞

・トップ選手の圧倒的なスピード

激戦区のスタートで失敗し、最後尾からの出発になった時のこと。周囲には同じくミスをしたトップ選手の姿もありました。実力が拮抗する世界では、彼らでさえハイリスクな勝負に出るのだと痛感しました。ただ、彼らはその後、圧倒的なスピードで30位前後まで挽回しており、やはりスピード改善が最重要課題だと確信しています。

・日本の人気がもたらす恩恵

今回は日本人気に助けられました。オランダの有力選手に質問した際、彼の恋人が日本に留学中で本人も最近来日したとのことで、日本トークで意気投合。競技に関する有益な情報を多く教えてもらえました。他にも漢字Tシャツを着た選手や日本語を少し話せる選手もおり、コミュニケーションのきっかけ作りに大いに役立っています。



・海外選手とのチューニング差

今回の大会では待機時間を活用し、オリンピアンをはじめとする海外トップ選手から、直接セッティングのアドバイスをもらう貴重な機会を得ました。
彼らに話を聞いて気づいたのは、全員共通の正解となる「特別なチューニング」は存在しないということです。同じ道具で競うiQFOiL級ですが、トップ選手はそれぞれの体格やスタイル、自身の感覚にフィットする乗りやすさを追求しています。
発展途上の私は、つい上位選手の真似をしてしまいがちでした。しかし今後は、自分のフィーリングを何より大切にし、自分なりの正解を求めて道具と向き合っていきたいと感じています。

＜ポルトガル遠征全体を通して＞



今回の遠征は、短期間で改善・実践できることに絞って準備し、レースでもその成果や確かな成長を感じられました。一方で、昨年来の課題である「スピード」については向上が見られず、順位を上げきれなかったことに強い悔しさを感じています。
現在は国内に戻り、スピード改善に特化したトレーニングに励んでいます。現状のチューニングでは限界があるため、新しいセッティングや道具を積極的に試し、次回の国際大会での飛躍に向けてしっかり備えたいと思います。

大会公式ドローン映像
https://drive.google.com/file/d/1N6xMtbWMWxh6XNELM_OcKNeQY01wQDXD/view?usp=drivesdk

大会公式YouTube映像
https://www.youtube.com/live/GiR4n61klcE?si=mehv1sQPpXnftXT3

日本から大会会場まで
https://drive.google.com/file/d/1Pvgy1HMwWqqnqRbzGq9mXi_YgcgqfXML/view?usp=drivesdk

JWA PROTOUR　浜名湖CUP

（大会概要）
場所：静岡県浜松市三ヶ日　浜名湖
期間：5月30～5月31日
出場人数：プロクラス26人

結果：プロクラス 第3位

4回目の出場となる今大会、初めてライバルのトヨタチームに割って入り、表彰台に立つことができました。久しぶりに練習の成果が順位に表れてホッとしています。来年こそはトップを狙います！





浜名湖カップ ２０２６　（JWA JAPAN PROTOUR 2026-2027 UP FOIL 第一戦）

■期日：　月３０日（土）～３１日（日）
■場所：　牛の家（浜松市北区三ヶ日町都筑523-1）
■主催：　ウインドサーフィン協会（JWA）
■後援：　静岡県セーリング連盟
■協賛：　各社
■協力：　有限　三ケ日青年の家

アップウインド

順位	アップウインド		セールNo	氏名	所属	性別	1R		2R		3R		4R		5R		CUT	BEST	得点
	男	女					順位	得点	順位	得点	順位	得点	順位	得点	順位	得点			
1	1		5	池田 優里	トヨタ自動車東日本株式会社	男	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	4
2	2		11	高澤 悟	トヨタ自動車東日本（株）	男	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	8
3	3		801	倉鹿野 巧	株式会社平吉設備/ 株式会社品川鋼工場/SiriusGYM/ sweets cafe 四季折々/ぴえき耳鼻科/ Primework	男	3	3	4	4	3	3	4	4	3	3	4	3	13
4	4		51	武田 岳志	トヨタ自動車東日本株式会社	男	4	4	3	3	4	4	3	3	4	4	4	3	14
5	5		550	井上 隆	マネロパマインズ三浦/株式会社ケーライズ/株式会社ガイアフィールド/MF CLUB 24/栃木県セーリング連盟/TEARS	男	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	20
6	6		69	中嶋 颯	横浜平和プラザホテル/bricksstudio/loftsails/patrik/tears/cinsurfers/M.R.C／南房ウインドサーフィン部	男	7	7	6	6	6	6	DNS	27	8	8	27	6	27
7	7		28	賀来 耕一郎	GUNSAILS/STARBOARD/SHALLOWREEF/PATRICFOIL/ WIP/PROLIMIT/M.R.C	男	6	6	8	8	10	10	9	9	6	6	10	6	29
8		1	4	新崎 莉奈	エリエール	女	8	8	10	10	8	8	6	6	9	9	10	6	31
9	8		67	山田 昭彦	DUOTONE/ パトリックfoil/ プロリミット/ ティアーズ/M.R.C	男	10	10	7	7	12	12	DNS	27	7	7	27	7	36
10		2	470	須長 由季	（株）ミキハウス/TEARS/M.R.C	女	15	15	13	13	7	7	7	7	10	10	15	7	37
11		3	585	大島 朱莉	立命館守山高校/HOPE/かんとりーはーばー	女	9	9	11	11	9	9	11	10	12	12	12	9	39
12		4	23	渡辺 純菜	株式会社京進	女	11	11	9	9	11	11	8	8	18	18	18	8	39
13	9		450	中嶋 基	東京ガス/Tears/M.R.C./Loftsails/Patrik/On`s	男	12	12	16	16	15	15	13	12	11	11	16	11	50
14	10		76	柵岡 順也	SPOOKY、先生方	男	13	13	12	12	14	14	12	11	RET	27	27	11	50
15		5	32	松浦 花咲実	かんとりーはーばー、ITOEN、CW-X	女	16	16	15	15	13	13	15	14	14	14	16	13	56
16	11		119	原山 禄充	H.R.C / ガイアシステム	男	14	14	14	14	18	18	18	17	13	13	18	13	58
17	12		127	長谷川 裕志	S2 Maui / A factory	男	18	18	18	18	16	16	14	13	15	15	18	13	62
18	13		1000	鈴木 泉	エアボーン	男	17	17	21	21	19	19	16	15	16	16	21	15	67
19	14		7503	楠 貢	WINDS171	男	19	19	17	17	18	18	17	16	17	17	19	16	68
20	15		1181	野口 豊樹	spooky	男	20	20	19	19	22	22	22	21	21	21	22	19	81
21	16		727	後藤 記之	H.R.C / DENSO	男	21	21	20	20	23	23	21	20	22	22	23	20	83
22	17		1070	菱沼 獅	北下浦中学校/TEARS/M.R.CJr	男	22	22	25	25	20	20	20	19	24	24	25	19	85
23	18		1411	水嶋 政彦	M.R.C/シャローリーフ	男	25	25	23	23	21	21	23	22	20	20	25	20	86
24	19		1091	池田 裕一	WINDS171	男	DNS	27	DNS	27	DNS	27	19	18	19	19	27	18	91
25	20		74	近藤 圭三	Seayou オールケア VLX ARK IRC KRC	男	24	24	22	22	24	24	24	23	23	23	24	22	92
26	21		229	光貞 宏	333da.Design.Works H.R.C	男	23	23	24	24	25	25	DNS	27	25	25	27	23	97

＜7月8月の大会予定＞

7月18～19日　JWA UPWIND PRO TOUR 第2戦　📍横須賀・津久井浜
8月　出場大会なし

次の2ヶ月は国際大会への出場予定はなく、9月前半に控えるイギリスでの世界選手権に向けての準備を進めていきます。
課題となるスピードの解決とともに、ポルトガル遠征で減った3kgの体重を取り戻す食トレ&ウェイトトレーニングに励んでいきます。
また次回のレポートでお会いしましょう！
最後まで読んでいただきありがとうございました。

＜普段のトレーニング動画まとめ＞
https://drive.google.com/file/d/1mnUFISdtZr6YTptkAMfabGNEewYMdcPr/view?usp=drivesdk

@GANO_JPN801

